

平成 28 年 5 月 14 日

P T A 総会特別号

# あしたのあさひ

～P T アクションと校長室をつなぐ～



県立旭高等学校長 古谷康司

こんにちは。P T A 総会の開催にあたり、一言ご挨拶させていただきます。

「親子で輝く旭高等学校 ～5年後のための第一歩～」をテーマにして始まったP T アクションの取組も、3年目を迎えることになりました。

試行錯誤の1年目から成長し、今では、あれもこれもやりたいと、学校との日程調整や予算確保が大変なくらい活動が盛んになっています。総会フェスティバルも昨年以上の企画と準備が行われ、多くの方に参加していただきます。

このように、保護者の方が学校に来る。あるいは遠くでも部活動の応援に出かけ、家庭で旭高校を話題にする。旭高校らしい仲がいい親子がさらに増え、親子で輝く高校生活3年間で盛り上がる。保護者、学校が一つになって生徒の成長を応援する理想の学校を目指して、皆様とがんばることができたら素晴らしいと思っています。

今、校長として時間をつくって部活動の応援に駆けつけています。練習の成果を出してがんばる選手ももちろんですが、応援する生徒が素晴らしい。あの声援に勇気付けられて、苦しいときを乗り越えた場面を何回も見ました。さらに、旭高校の生徒はあいさつが素晴らしい。旭高校以外の場所で、自分の学校の生徒から「こんにちは」と声をかけられたうれしさは格別です。生徒と心をひとつにして応援することができました。

こんな素晴らしい旭高校を、保護者の方に見ていただき、中学生、地域の方などの多くの方に知っていただきたい。卒業生が、高校3年間を旭高校で過ごせてよかった話を聞いてもらいたい。旭高校の良さを理解していただき、さらに応援したくなる学びの場にしていきます。

旭高校に「青春」という言葉は良く似合う。